

令和3年度第1回八戸警察署協議会

- 1 開催日時
令和3年6月25日（金）午前10時から午後0時
- 2 開催場所
八戸警察署4階第一会議室
- 3 出席者
油川会長以下委員12人
八戸警察署長以下署員18人
- 4 主な議事内容
 - (1) 概況説明
 - ア 警察安全相談・苦情・感謝事例
 - イ 事件・事故の発生状況等
 - ウ 災害の発生状況
 - (2) 重要課題説明
安全・安心を実感できる八戸・階上の実現
 - ア 住民の安心感を向上させるための街頭活動等の強化
 - イ 交通死亡事故抑止対策と飲酒運転根絶対策の推進
 - ウ 特殊詐欺対策の強化
 - (3) 質疑応答・意見要望
別紙のとおり

<p>警察に対し親しみと威厳を抱かせるような独自のスローガンを設定してみてもどうか。</p>
<p>当署では、独自に今年度の目標として「安全・安心を実感できる八戸・階上の実現」を掲げ、その目標達成のため、3つの重要課題を設定しております。</p>
<p>住民の安心感を向上させるための街頭活動とは具体的にどういった活動か。</p>
<p>巡回連絡や交差点での街頭監視活動、パトカーや自転車、徒歩による警ら、不審者に対する職務質問などです。</p>
<p>大人数が集まる場所や迷惑行為等に対してもパトロール強化をしていただきたい。</p>
<p>公共の場所等で騒いだりするなどの迷惑行為に対しても、警察官を現場に急行させるので、目撃された場合は遠慮せず通報していただければと思います。</p>
<p>八戸地区連合防犯協会の事業「防犯カメラ設置促進事業」について、今後の防犯カメラ設置予定を教えてください。</p>
<p>八戸市からの補助金を活用し、令和3年度内に、八戸市内の全小中学校への設置に向けて事業を推進しているところです。</p>
<p>飲酒運転の取締りの回数や場所をもっと増やしてはどうか。</p>
<p>今後も署員を効率的に動員して取締りに望んでいきます。</p>
<p>飲酒運転の検挙件数が県内で最も多いと聞いたことから、交通事故に結びつく飲酒運転防止啓発活動に力を入れていただきたい。</p>
<p>検挙活動だけでは飲酒運転根絶にはつながらないことを痛感しており、広報活動にも力を入れていこうと考えております。</p>
<p>飲酒運転検挙について、取締りによる検挙件数や、交通事故を機に検挙となった件数の内訳を知りたい。</p>
<p>統計をとっておらず公表できるものではありません。</p>
<p>ドライバーに「もしかして」と危険予測を促すような広報をしてみてもどうか。</p>
<p>現在、危険予測シミュレータを使用した交通安全教室の開催を検討しております。</p>

<p>通学路における交通取締りを更に強化してはどうか。</p>
<p>本年6月から、「歩行者安全対策強化日」を設定した上、早朝の通学路等における街頭活動などを実施しており、今後も継続していく予定です。</p>
<p>整備不良車両に対する取締りを強化していただきたい。</p>
<p>道路交通法で取締り可能なものもあるので、違反を見つけた際は看過せず検挙してまいります。</p>
<p>道路標示の白線が消えている場所を多く見るので、毎年春先に引き直した方がいいのではないかと。</p>
<p>道路標示のメンテナンスについては、予算や契約の関係で、学校周辺の横断歩道のみ優先して行っており、御理解いただければと思います。</p>
<p>運転中の携帯電話での通話が規制されている一方、他の車の迷惑になる場所に路上駐車し通話している人を見かけるが、こういったケースにはどのように対応しているのか。</p>
<p>通報や警ら活動を通じて発見した際は、指導警告しております。</p>
<p>民放局でも殊詐欺対策番組の放送機会があればいい。</p>
<p>残念ながら当署だけの番組制作は難しい現状であり、警察本部へ意見として要望します。</p>
<p>高齢者の特殊詐欺被害防止対策の一環として、高齢者世帯への直接的な呼び掛けや町内会と連携した取組をやってみてはどうか。</p>
<p>当署では、巡回連絡を通じた高齢者の方への直接的な注意喚起や、高齢者の方が参加する会合での注意喚起を実施しており、引き続き実施してまいります。</p>
<p>特殊詐欺対策の一環として、高齢者がお住まいのおうちの電話を留守番電話に設定することをすすめみてはどうか。</p>
<p>住民の方々が犯人からの電話を直接受けることのないようにするための対策として、留守番電話の設定を促進してまいります。</p>
<p>交番等のおたよりを活用し、特殊詐欺に関し強く注意喚起するものを発信してみてはどうか。</p>
<p>毎月発行の広報紙に加え、管内情勢に応じて強く注意喚起したい内容に絞った交番速報等をスピーディーに発行していきます。</p>

地方出身の若者がだまされて、特殊詐欺の犯人グループの末端として働かされていると聞いたので、学生を対象とした広報活動を行ってみてはどうか。

高校生や大学生対象の防犯講話等の際には、特殊詐欺の手口についても周知するような内容にするなど、若い世代に対しても被害防止を呼びかけていきます。

警察で月ごとや季節ごとの目標を立て住民に具体的に訴えてみてはどうか。

7月の夏の交通安全県民運動や、毎月1日と15日に設定している歩行者安全対策強化日、5月の巡回連絡強化月間などを設定しているほか、必ずしも公表できるものばかりではありませんが、それぞれ目標達成を目指して活動を強化してまいります。

住民が多く集う催事場での広報活動やメディアを活用した広報活動など、呼び掛けの場を広げてみてはどうか。

新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら広報活動のあり方を模索しているところ、関係機関と連携しながら少しずつ活動の場を広げていきたいと考えております。

通勤やジョギング中の防犯見守りを行ってもらうなどの取組をしてみてもどうか。

警察では「ながら見守り」と称し、普段の生活や事業活動をしながら、防犯の視点をもって見守りに関わることを推奨しており、今後も周知を図っていきます。

SNSを悪用した犯罪や誹謗中傷等の相談件数や、そうしたトラブルを防止するためにどのような対策を実施しているか伺いたい。

相談件数は統計をとっていないため不明ですが、中学校・高校等でインターネットに係るトラブル防止についての講話を行っているほか、各種広報の機会に幅広い年代への注意喚起を実施しております。